



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2020-2021年度 第5週報 No. 2115 2020年(令和2年)8月21日 第2115回 例会記録 8月28日発行

### 本日(8月28日)のプログラム

- ◆ 斉唱 「それこそロータリー」
- ◆ 献立 週替わり弁当
- ◆ 卓話 『『危機管理』感染症・安全保障』  
元防衛大臣政務官・元外務副大臣 佐藤 正久 様  
(紹介者 田口健太郎 会員)



写真提供 小池 将夫

**司会** 友添 辰哉 副幹事

**点鐘** 山本 芳弘 会長

**斉唱** 「我等の生業」

**四つのテスト** 茂木 知子 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 吉井 祥博 様(ゲストスピーカー)

**会長報告** 山本 芳弘 会長

- ・当クラブの米山特別寄付額が64,000,000円を超え、64回目の米山功労クラブとなりましたのでご報告申し上げます。

- ・米山奨学会より、米山功労者の感謝状が届いておりますので贈呈します。



山木幹夫会員(9回)、馬場佳子会員(1回)、加野亮一会員(1回)

2020-2021年度 RI 会長 ホルガー・クナーク



ロータリーは機会の扉を開く

第2590地区 ガバナー 吉田 隆男

会 長	山本 芳弘	会 計	白井 康夫
会長エレクト	小山市 康	副 会 計	渡邊 淳
副 会 長	赤堀 和人	S A A	佐藤 勝彦
副 会 長	植田 清司	副 S A A	古澤 一憲
幹 事	田口 健太郎	副 S A A	月山 勇
副 幹 事	友添 辰哉	クラブ会報	池田 広樹

**例会日** 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内  
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555  
**創立記念日** 昭和51年5月29日

### 幹事報告

田口健太郎 幹事

- ・ホテルキャメロットジャパンより8月1日付支配人交代のご挨拶状が届いておりますので回覧致します。
- ・学友会より、第2590地区学友近況報告書が届いておりますので回覧致します。
- ・本日、例会終了後に8月度定例理事会を開催致します。

場所 4F フェアウインドⅢ

### ◎例会変更のお知らせ

#### \* 神奈川ロータリークラブ

- 8月31日(月) 休会
- 9月14日(月) 休会
- 9月28日(月) 夜間例会

#### \* 横浜北ロータリークラブ

- 9月8日(火) → 10日(木) 移動例会
- 9月29日(火) 休会

### 誕生日祝

山本 登 会員 (8月18日)  
 小山 市康 会員 (8月22日)



### スマイルボックス

古澤 一憲 副SAA

- 山本芳弘君 吉井祥博様、本日の卓話、よろしく願い致します。
- 山本 登君 誕生日祝い、ありがとうございます。
- 小山市康君 誕生日祝い、ありがとうございます。
- 石川正三君 ご無沙汰です。暑すぎます。皆さん、気を付けましょう。
- 吉田隆男君 本日は公式訪問がなく、久しぶりに例会に出席致しました。
- 月山 勇君 あ〜ツイ、暑い(-\_-;)。この暑さ、何時まで続くのか・・・。ご自愛下さい。
- 伊東英紀君 暑いです。
- 加藤仁昭君 暑いですね！夏バテにならないよう頑張っています。
- 植田清司君 残暑が厳しいです。皆様、ご自愛下さい。
- 茂木知子さん 吉田ガバナーの南央RC訪問にご一緒させて頂きました。吉田ガバナーは、重厚な低音のよく通る声で話されるので、お話がよく伝わると思いました。私と一時夫婦関係にあった植田さんも一緒でした。植田さんはコロナ騒動で、6ヶ月以上夜の街への出勤がないことを嘆いておられました。
- 岡部雄一郎君 吉井祥博さん、本日の卓話、よろしく願い致します。ベ이스ターズ戦の実況、いつも楽しく拝見しております。
- 加野亮一君 夜中は秋の虫の音が聴こえるようになりました。
- 池田広樹君 ガバナー訪問にご一緒させて頂いて、とても勉強になりました。
- 北村大輔君 吉井様、本日楽しみにしております。

8月21日	14件	34,000円
本年度累計		243,000円
年度目標進捗状況		-3%

### 出席報告

横溝 亘 出席委員長

会員総数	52名	(32+20)名
出席会員数	41名	(28+13)名
出席率	91.11%	
ゲスト	1名	ビジター 0名
前回補正後	91.11%	前々回補正後 93.62%

### 25年目のプロ野球実況

TVK アナウンサー 吉井 祥博 様  
 (紹介者 岡部雄一郎 会員)



コロナの影響で、人間生活が著しく制約され、夏休みの子供たちも通常の夏休みを迎えることが出来ません。そのような中で、三密を避けてせめて出来る夏の思い出作りに、親御さんも大変です。

【写真提供 小池 将夫 会員】



アナウンサーになりたいと大学時代に念じ始めた理由は、スポーツを伝えなかったからです。なぜスポーツ、とりわけ野球に魅せられたのか？

小学校4年生の頃、レフトへ十分な手応えで放ったゴムボールをセンターの定位置から走った（後にプロ野球選手になった）同級生にキャッチされ「上手い奴はどれほど凄いのか」目の当たりに。それでも野球には片思い。

同じ頃、小学校担任の先生が企画した“朝の一分間ニュース”、交代で朝刊に載っていたニュースを皆の前で発表するというものですが、当時私は、ほぼ前日のナイターの結果ばかりを伝えていました。たぶん「自分の心が動いたことを誰かに伝える」面白さを、最初に知った頃、原点です。

学年が進むにつれ、焼き付いたシーンは年輪の様に重なりま

す。中学2年の秋、中畑清さんの日米野球レッズ戦でのホームランなど球場で目撃した感動も増えました。

そんな折「これ、いつか伝えてみたい」と心躍ったのが優勝直後の「ビールかけ」中継。真剣勝負から一息ついた選手達が、ここぞとばかりに、はしゃぐ。普段試合の実況を担当するアナウンサーや記者も巻き込まれ、画面一杯に喜びが弾ける。私は今も、たとえバイスターズ相手に優勝を決めたチームだとしても「ビールかけ」のシーンは必ず見ます。これぞシーズンの喜びが凝縮された瞬間です。まあ、でも、こればかりは念じても花開くとは限らない。「運が良ければ」程度に思っていたビールかけ会場での実況を、t v kに入って3年目、1998年に担当できたのです。

I B C 岩手放送でアナウンサーの職に就き、1995年の12月、t v k に中途入社。当時鈴木隆さん、秋山登さんと放送で組ませていただく機会が多く、暖かくも時に厳しい言葉で学ばせていただきました。

一方、私の遅々として向上しない放送とは別次元でバイスターズは年を追うごとに躍進、勢いがありました。プロ野球実況を担当し3年目で「ビールを浴びると目が痛い」と知る幸運に恵まれました。

その後、愛するチームの勝利をお伝えする機会は、450試合近くのプロ野球実況経験の中で思う様には重なりません。それでも、ひたすら野球に夢中になって取材し伝えると、自然と実況に集中し、局面ごとに熱が入ります。結果、試合内容や置かれた状況に関わらず、決して諦めない、前を向くエネルギーを発する中継に繋がると実感しています。

2012年以降バイスターズは着々と、再び優勝争いができるチームへと歩みを進め、横浜スタジアムが歓声に包まれます。活気はファンに伝わり、私たちの放送への期待にも波及いただいています。

放送への姿勢は一貫し変わらずとも使命感は増えています。現在の状況下は、残念に思うことが多いのですが、諦めません。可能性を考え抜き「見て良かった」と思っていただけの中継を目指していきます。

過去、思い出に残る試合は数多くありますが、ベストゲームは次に実況を担当する試合と銘じています。

### 2020年8月

グローバルパンデミックや社会正義を求める声の高まりなど、2020年ではすでに歴史的な変化が起こっています。この世界は常に変化し続けていて、ロータリーもその世界を映していることを思われます。

奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップという私たちの中核的価値観を常に大切にしながら、耳を傾け、適応していかなければなりません。こういった価値観を体現し、生活のすべての局面において四つのテストを実行していけば、どんな時代でも世界を導くことができます。

ロータリーがその適応能力をしばしば実証してきたことを誇りに思っています。パンデミックに直面しても、ロータリーは立ち止まることはありませんでした。オンラインでの会合に移行し、奉仕の新しい方法を見つけました。中止されたホノルルでの2020年ロータリー国際大会は、初のバーチャル国際大会として開催されました。従来例会に加えて、携帯電話やパソコンを使ったオンラインでの例会と、毎週どこでも柔軟に会合が開かれています。ロータリーは今も、これからも、いつでもつながりを求める人びとがつながることを可能にします。

オンラインと対面式の会合をどちらも活用しているのが今は特にありがたいと話してくれた人もいます。どうすれば、この動きをさらに発展させて、この機会にロータリーが今後も躍進するために変化を取り入れていくことができるでしょうか。

新しい種類のクラブを支援することがその鍵となると私は思います。こういったクラブはもはや実験的なものではなく、今日のロータリーの一部を確かに成しています。従来クラブに加えて、Eクラブ、ローターアクトクラブ、活動分野ごとのクラブ、パスポートクラブがあります。こうして新しい種類が加わることで、ロータリーはこれまで以上に開放的で、柔軟で、新会員にとって魅力的な団体となっています。これらのクラブを訪問して、アイデア交換や提携を行い、ほかのクラブや地域社会に知らせていきましょう。

ロータリーには成長が必要だということは誰もが同意するところですが、ときに、数だけを気にしてもっと大切なことを見失ってしまうことがあります。せっかく会員数が増えたとしても、翌年に新しい会員たちがクラブを去ってしまえば意味がないのです。ロータリーを持続的に成長させましょう。活動参加の豊富な選択肢があれば、会員は活動に参加し続け、ロータリーが他団体とは違うことを地域社会に実証してくれます。規則にこだわるよりも、従来例会のほかにもさまざまな方法で集うことにロータリーが重点を置くようになったことを喜びましょう。

会員のためにできることをすべて実行しているかどうか、そして奉仕する地域社会を反映しているかどうかを問い、そして正直に答えるために、年次戦略会合を開催することを各クラブに推奨します。国際的なレベルでもこのアプローチが採られて

います。本年度はR I 理事会で過去最多の6名の女性が理事を務めていることを誇りに思います。どのレベルにおいても、この変化を押し進めていきましょう。ロータリーが今後発展していくためには、これまで以上にさまざまな視点と多様性が必要となります。

本年度、そしてそれ以降も、変化に適応して敏捷でありつづけるための新しい方法を模索するロータリーの試みを想像すると胸躍る気分です。しかし、私はロータリーが変わっていない部分、今後も変わらずにありつづける部分にもインスピレーションを得ています。それは、友情、ネットワーク、倫理、そして奉仕です。これらの価値観こそ、ロータリーの魅力の源なのです。

ロータリーの創立者ポール・ハリスがかつて言ったように、ときには革命的にならなければいけないこともあります。今がまさにそのときです。中核的価値観を守りつつも、変化を取り入れてより強固な存在になるために、ロータリーは機会の扉を開きます。それこそ無限に。

ホルガー・クナーク  
2020-21年度会長

ロータリー初の女性会長ノミニーに  
ジェニファー E. ジョーンズ氏

2022 - 23年度国際ロータリー会長として、ウィンザー・ローブランド・ロータリークラブ（カナダ、オンタリオ州）会員のジェニファー E. ジョーンズ氏が指名されました。115年に及ぶロータリーの歴史で初の女性会長となります。ほかの対抗候補者が出ない限り、ジョーンズ氏は10月1日に正式に会長ノミニーとなります。

ロータリーの行動計画は、ロータリーによるインパクトを高めるための推進剤であるとジョーン氏は話します。

「新しい戦略的優先事項を検討する中で、近年の歴史の中でも紛れもなく最も重大な時期に、ロータリーの『適応力』が私たちの道しるべになろうとは誰も予想していませんでした」と、自身のビジョンの中でジョーンズ氏は述べています。「希望の兆しは最も困難な状況から生まれるものです。測定可能な目標を基軸として、私はこの歴史的な状況を生かし、今日の現実を反映した機会をとらえ、培い、伝えていきます」

女性初の会長に指名されるにあたり、ジョーンズ氏はロータリーの「多様性、公平さ、開放性 (DEI) に関する声明」の重要性を理解しています。「多様性、公平さ、開放性を最優先し、女性会員や40歳未満の会員を増やすには、まずリーダー陣がこれを実践し、そのメンバー構成に反映させていく必要があります」とジョーンズ氏。「どちらの目標でも2桁の成長を目指し、決してロータリーファミリー全体を見失わないようにします」

ジョーンズ氏は、ウィンザーにある Media Street Productions Inc. の創業者兼社長です。ウィンザー大学の理事長、ウィンザー・エセックス地域商工会議所の会頭を務めたほか、その奉仕活動が称えられ、YMCA Peace Medallion、Queen's Diamond Jubilee Medal を受勲し、カナダ人初のウェイン州立大学 Pecemaker of the Year Award を受賞しています。

また、法学の博士号 (LL.D.) を有しています。

現ロータリー財団管理委員であるジョーンズ氏は、1997年にロータリーに入会し、R I 副会長、理事、研修リーダー、委員会委員長、モデレーター、地区ガバナーを歴任しました。また、ロータリー強化諮問グループ委員長を務め、ロータリーのブランド活性化の取り組みでリーダー的役割を担いました。現在は、ポリオ根絶活動のために1億5000万ドルのファンドレイジングを目指す、「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウンキャンペーン委員会」の共同委員長を務めています。

最近では、新型コロナウイルス対応のためのファンドレイジングを目的としたテレソン (Telethon) を先導。このイベントは65,000人以上が視聴しました。

ジョーンズ氏は超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状を受賞しているほか、夫のニック・クラヤシッチさんと共に、アーチ・克蘭フ・ソサエティ、ポール・ハリス・ソサエティ、ロータリー財団遺贈友の会の会員となっています。



2022-23年度国際ロータリー会長の指名委員会により選ばれたジェニファー E. ジョーンズ氏 (カナダ、ウィンザー・ローブランド・ロータリークラブ所属)

## クラブニュース

タウンニュースに掲載 (2020年7月23日号)

**地元奉仕団体 新会長の横顔 Vol.1**

創立45周年という節目 井戸や公衆トイレを建設の年あたり、「青少年 するな」海を越えた奉仕から高齢者まで、幅広い活動を展開。区民まつりの方々に支援を行き渡らせ、では会員が持ち寄った物と笑う。品を販売するバザーを開く。中学生の頃にドラムを始め、高中正義やシャカタクなどのフュージョンに傾倒。ギターやベース、鍵盤までこなすマルチプレイヤーだ。寺に地域住民を招いて毎年秋に行っている「音楽(じら)会」では、遠くも客を招いたライブのほか、自身も木魚パチをドラムスティックに持ち替えてバンド演奏を披露する一

**垣根ない奉仕の心で**

神奈川東ロータリークラブ  
会長 山本 芳弘  
(宗) 瀬原院 住職 56歳

## 次回〈9月4日〉の予定

「ベトナム紹介と日本留学の体験談」

米山奨学生 グエン・バン・ドゥク 様

(紹介者 米山奨学委員長 清水 茂夫 会員)